

ダイナミックマップ基盤株式会社 今後事業の展開

平成29年9月6日
ダイナミックマップ基盤株式会社

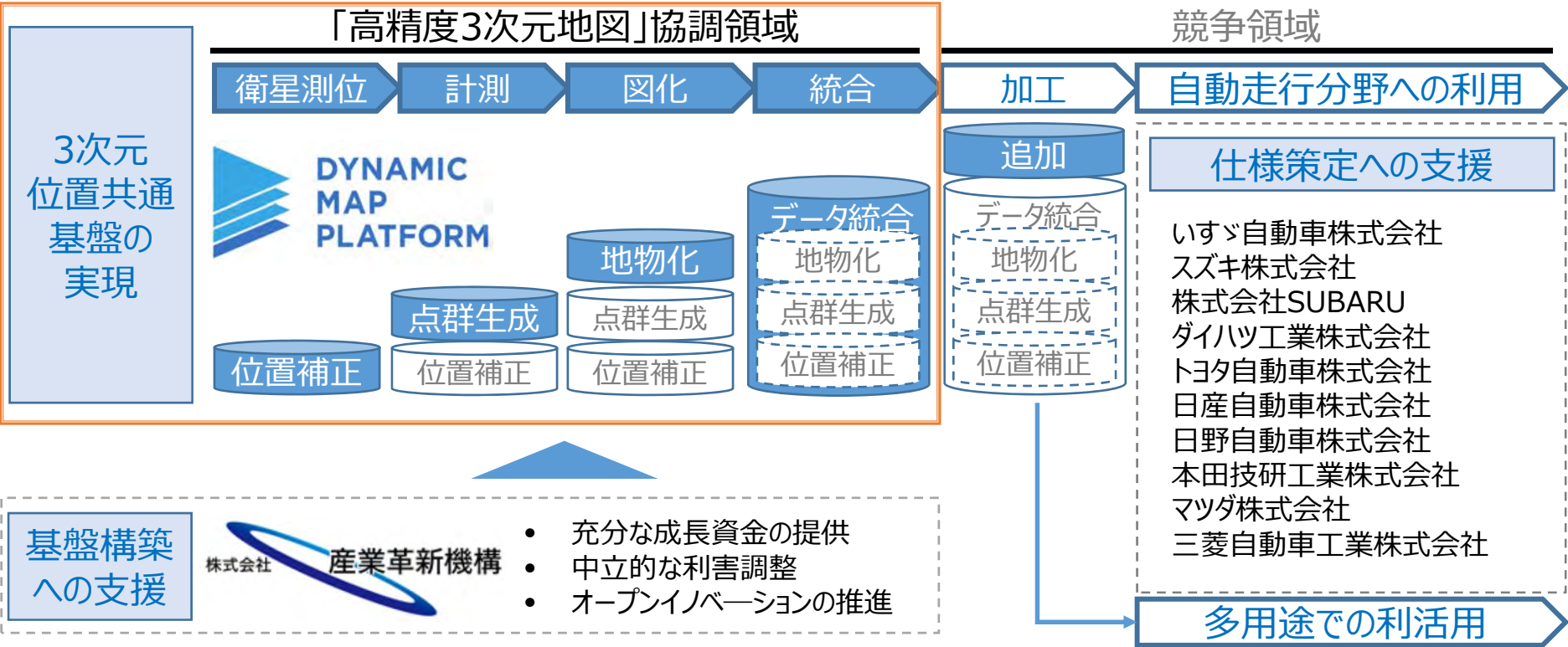
2017年6月30日 事業会社として新たにスタート

法人の名称	ダイナミックマップ基盤株式会社 (英語名 : Dynamic Map Platform Co., Ltd.)			
資本金	40 億円			
出資比率	株式会社産業革新機構	33.5%	いすゞ自動車株式会社	0.25%
	三菱電機株式会社	14.0%	スズキ株式会社	0.25%
	株式会社ゼンリン	12.0%	株式会社SUBARU	0.25%
	株式会社パスコ	12.0%	ダイハツ工業株式会社	0.25%
	アイサンテクノロジー株式会社	10.0%	トヨタ自動車株式会社	0.25%
	インクリメント・ピー株式会社	8.0%	日産自動車株式会社	0.25%
	株式会社トヨタマップマスター	8.0%	日野自動車株式会社	0.25%
			本田技研工業株式会社	0.25%
			マツダ株式会社	0.25%
			三菱自動車工業株式会社	0.25%
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全国自動車専用道路に係るダイナミックマップ協調領域及び高精度3次元地図データの生成・維持・提供 ・高精度3次元地図データをもちいた多用途（インフラ維持管理、防災・減災等）向けビジネス展開 ・海外へのビジネスモデル展開 ・一般道へのビジネスモデル展開 			

ダイナミックマップ基盤株式会社の事業領域及び株主について



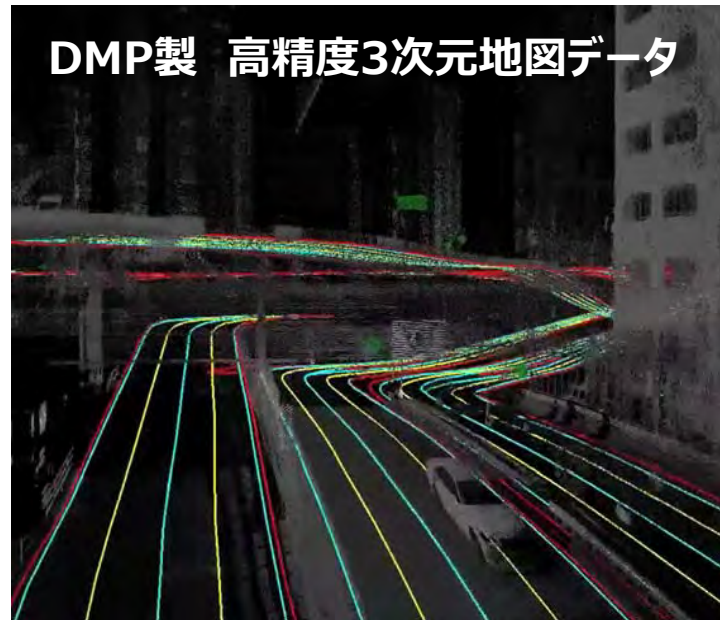
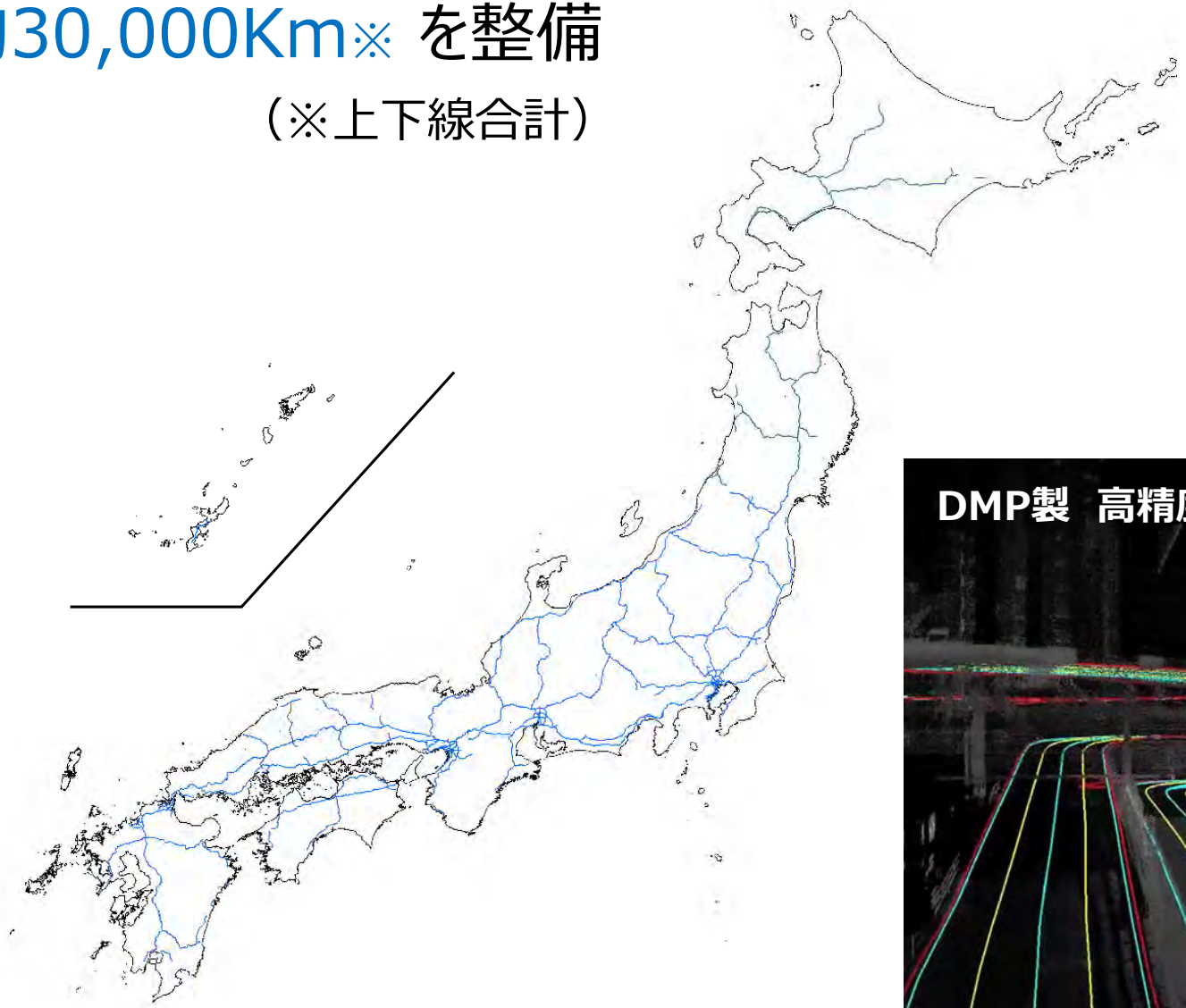
ダイナミックマップ基盤株式会社事業領域



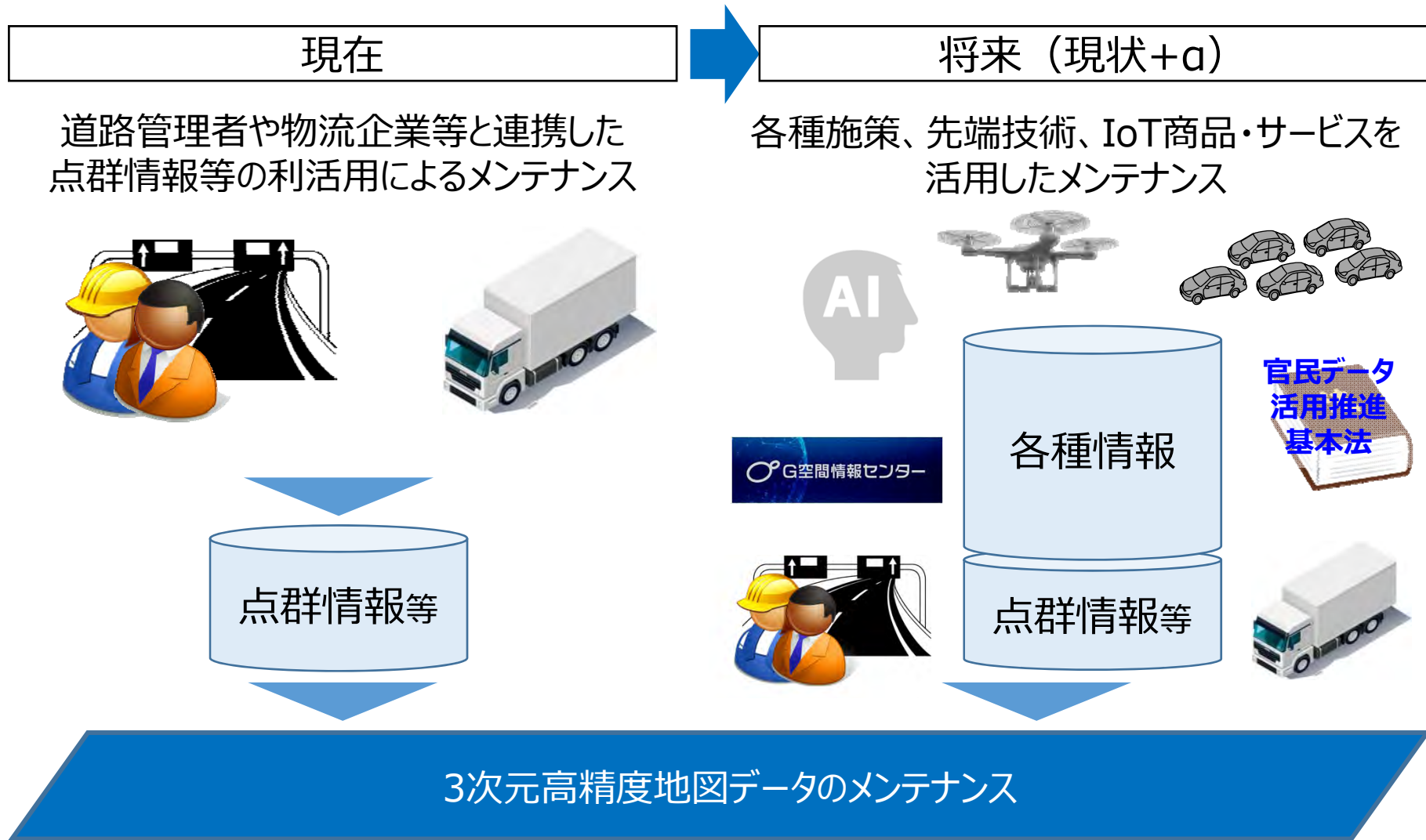
今後の事業展開 ① 高速自専道の整備・提供

2018年度までに全国高速道路・自動車専用道
約30,000Km※ を整備

(※上下線合計)



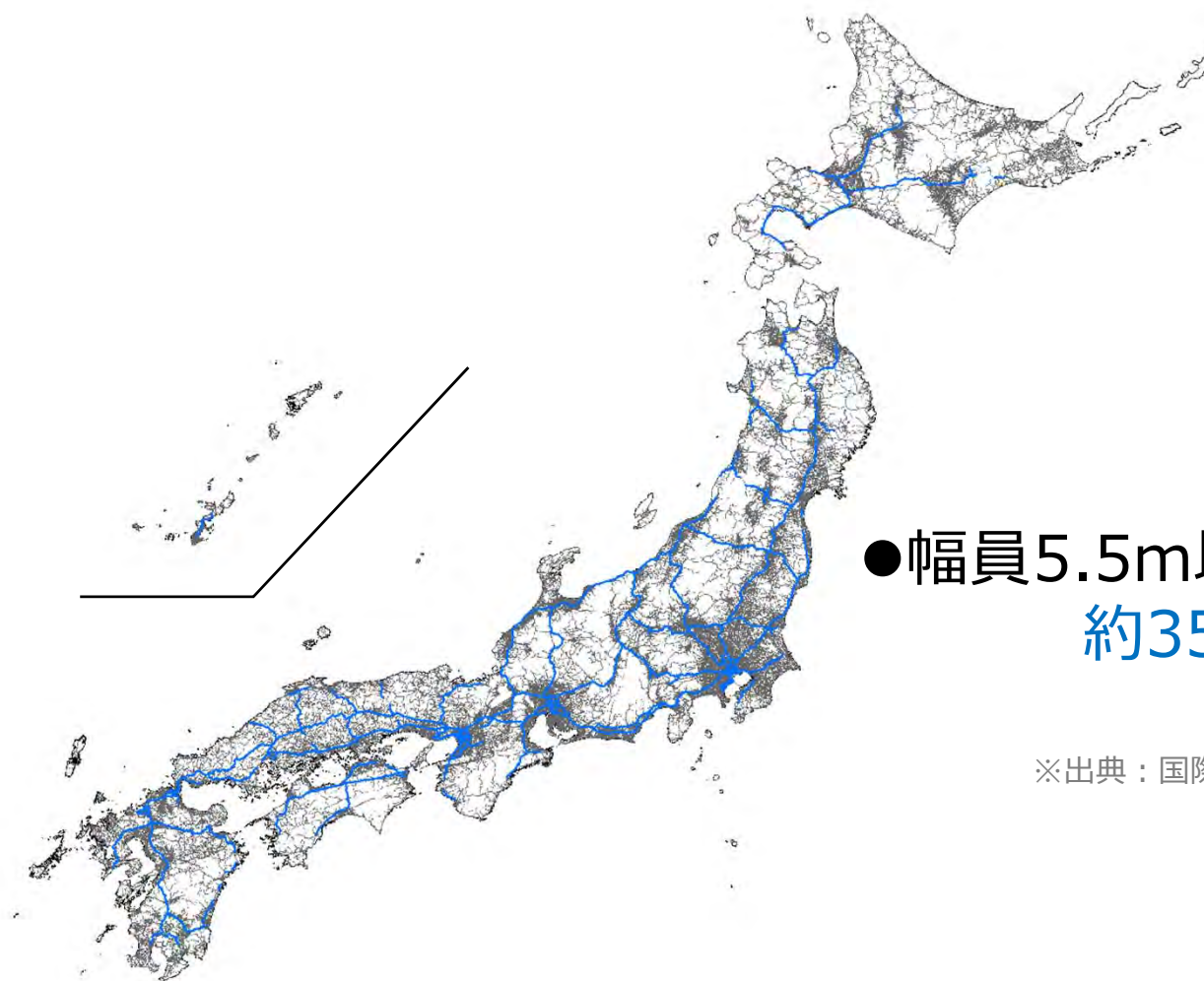
今後の事業展開 ②継続的な地図メンテナンス手法の確立



- 各種情報が高精度地図に紐づくことにより、高品質のメンテナンスが実現

中長期ビジョン

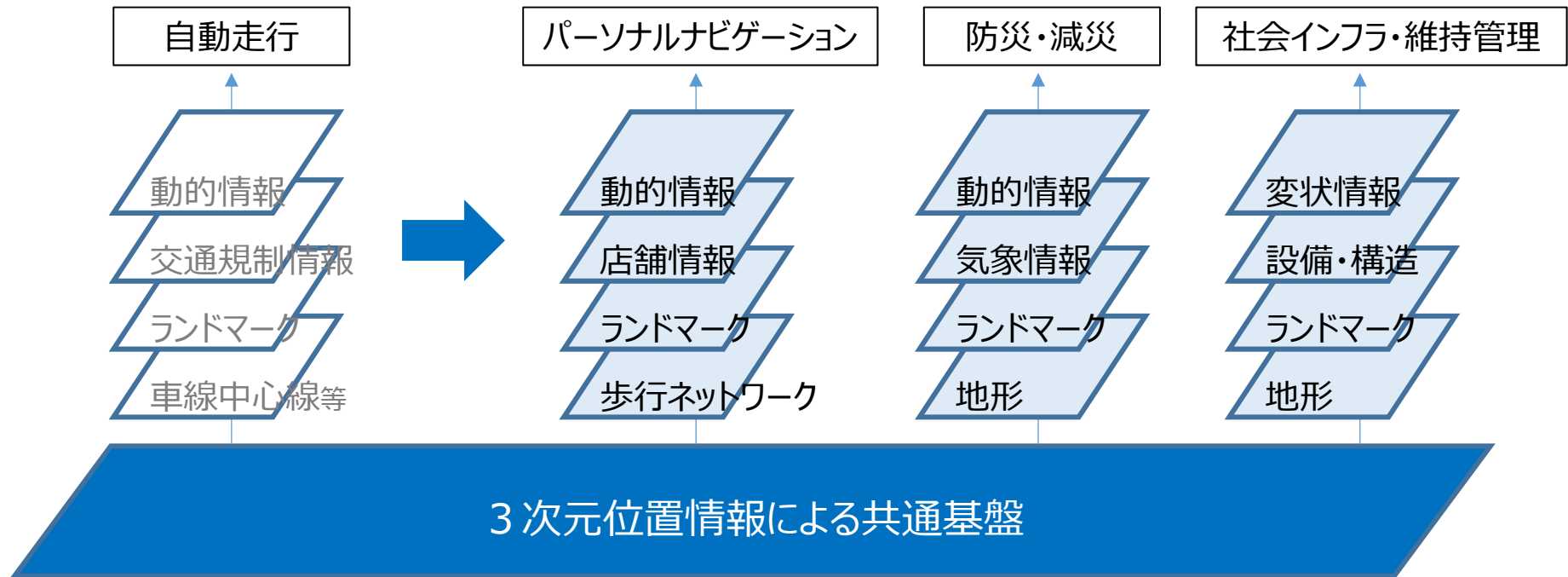
- 一般道における自動走行システム向け仕様検討を開始



- 幅員5.5m以上の道路延長
約35万Km※

※出典：国際道路連盟（IRF）2011年度

- 自動走行分野以外の多用途展開での利活用を推進する



出典：COCN（産業競争力懇談会） 2015年度 プロジェクト 3次元位置情報を用いたサービスと共通基盤整備

ダイナミックマップ基盤株式会社の今後の事業展開

- 2020年度からの市販車販売に備えて、2018年度までは初期整備及び更新手法/技術等の確立を進める。
- 一般道・海外・多用途展開における地図整備・更新に向けた態勢整備を実証等を踏まえ2019年度を目途に行う。

■今後の事業計画（案）

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
仕様要件検討・国プロ等への参画		大規模実証								
		自動図化・差分抽出技術 他用途実証								
		初期整備(自専道)							リフレッシュ整備(自専道)	
					新設整備(自専道)					
					更新					
		更新手法の検討・実証								
		MMSプローブ技術の検討・実証								
		海外検討・実証								
		一般道検討・実証								
			インフラ維持管理等活用検討							
					海外・一般道での運用に向けた態勢整備完了					
					他用途活用ビジネス(インフラ維持管理等)の展開					